



2016年2月1日

第81号

発行人：荒田 房生

発行：特別養護老人ホーム白島荘

〒562-0012 箕面市白島3-5-50

TEL：072-724-5511

FAX：072-720-2054

ホームページ：http://www.osj.or.jp

メール：hakusima@osj.or.jp

あけましておめでとうございます

平成27年4月に白島荘に着任し、もうすぐ1年が経とうとしています。私自身は平成8年4月から5年間白島荘で生活指導員（現生活相談員）として勤務し、14年ぶりに戻ってきました。建物はリニューアルされて全く様変わりしましたが、懐かしい方々にお会いできたことは大変うれしく思います。

最近の福祉情勢としては、社会福祉法人制度の変革期と言われています。

- ①組織のガバナンス強化
- ②事業運営の透明性の向上
- ③財務規律の強化
- ④地域における公益的な取り組みの実践 などが挙げられます。

そのような中で昨年の白島荘は、「地域」をキーワードにして、箕面市が何を目指しているのか、地元地域が白島荘に対して何を期待されているのかを考えてきました。箕面市では健康寿命の増進の為にラジオ体操を推進していますので、白島荘では毎週火・金曜日8時45分から正面玄関前で地域の方々と一緒にラジオ体操を実施しています。夏休み期間中はラジオ体操終了後に地域交流スペースを子供たちの自習室として開放しました。箕面まつりのパレードにも参加し、思いがけなくパレード企画最優秀賞を頂くこともできました。今後も更に地域の方々に喜んでいただける企画を進めていきたいと考えています。特に白島荘一階にある地域交流スペースを地域の方々に活用していただきたいと思っていますので、ご要望がございましたらご連絡をお待ちしております。

さて、平成28年が始まり1カ月が経ちました。皆様は年の初めにどのような目標をたてられたのでしょうか？私はここ3年同じ目標をたてています（つまりは達成できていません）。今年こそはフルマラソン完走!!



副施設長

羽田 浩朗

(申年)

自島荘運営理念



私たち白島荘は、優しい職員による
「おいしい食事」「居心地の良い部屋」
「話はずむリビング」「地域と交流できる生活」
づくりを実現します。
そして、地域に貢献できる存在になります。





ようこそ白島荘へ

寺尾 加壽子様
岡山で生まれ育ちました。瀬戸内海でとれたお魚は美味しいですよ。黍団子も名産だよ。ここ(白島荘)は穏やかでいいところだね。宜しくお願いします。

仲辻 千瑳子様
昔、畑仕事しつつ手芸や着物の仕立てなど手伝っていました。手仕事が得意です。宜しくお願いします。

A様
箕面市生まれの箕面市育ちのお菓子好きです。少しくらいならソフトボールも教えられます。どうぞよろしくお願いします。

転出職員
白島荘での約4年間、皆様には大変お世話になりました。白島荘での経験を糧に新しい環境でも自分らしく精一杯頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。

生活相談員(補助) 大野 将充

転出職員
白島荘に配属され、特別養護老人ホーム・高齢者デイサービスセンターを経験させて頂き、福祉の事や社会人としてのありがた等の多くを学ばせて頂きました。短い間でしたが、お世話になりました。関係した皆様には感謝しかありません。新しい職場に行っても、白島荘での学びを忘れずにステップアップしていきたいと思います。

介護職員 氷見 貴大

介護科よもやま話



マリーゴールドユニットの入居者4名様が大起水産のお寿司を食べに出かけました。

当日はあいにく大雨でしたが、参加されたご入居者はウキウキ、ワクワク!朝食後そそくさとタンスからごそごそと服を探し出し、鏡に向かってファッションショー。おしゃれなスカーフを巻いて、そわそわしながら待ち望んでおられました。

お店では、うなぎアナゴうなぎアナゴ…プリンブリュレ。お好みのネタを召し上がりながら、お店の雰囲気と新鮮なお魚を味わい楽しんでおられました。

これからもより「家庭らしく」、それぞれの個性を生かして温かい思いやりのある雰囲気づくりを目指し、ご家族や地域とのつながりを大切に、満足いくサービスをお届けできるよう、最善を尽くしていきたく思います。(マリーゴールドリーダー 竹内 芳泰)



医務室だより

新しい白島荘になり2回目のお正月を迎えました。去年は診療所としても喜ばしいニュースがありました。それはこれまでの年に比べてご入居者の入院が格段に減少したことです。医療的なニーズに応えられるよう点滴、検査、吸入等の処置に力を入れています。それも入院減少に対し功を奏したと思われま。

まだまだ手探りの状態ではありますが岸本先生のもと10人の看護職員、機能訓練指導員、事務員とで力をあわせて頑張ります。何かお気づきのことがございましたら診療所までご連絡ください。ご入居者が安心してお暮しになれるよう私たちは全力で援助いたします。(看護職員 岡本 泉)





11月29日、大阪府社会福祉事業団に勤める在宅スタッフ139名が大阪府下全域より箕面に集まり「つなごうサービスの輪」と題してOSJ在宅ネットワークが開催されました。

地域で暮らし続けたいという、ご利用者・ご家族に私たちはどう向き合い、今何をしなければならぬのか、事例発表や事例検討を通して参加者一人ひとりが考え、明日につなげる課題をそれぞれの職場に持ち帰れたことと確信しています。「参加してよかった。事業団ってすごいです。」帰り際こんな声掛けをしてくれたスタッフがいました。

今日も大阪府社会福祉事業団の在宅スタッフがそれぞれの街で、ご利用者と地域をつなげていることと思います。白島荘在宅スタッフも負けてはいられません。これからも宜しくお願い致します。(在宅科長 楠 成美)

機能訓練

機能訓練指導員
稲谷 佳子

白島荘に着任して、もうすぐ一年が経とうとしています。やっと90人のご入居者の名前とユニット名が覚えられ、皆さんの個性もわかり、楽しい日々を過ごしています。ここでは、個別訓練と併せて、生活の中で、お食事時に車いすから椅子に座り替えてもらうことなど介護職員の協力を得て、生活リハビリも行われています。着任した当初は、「ここには人が住んでいるのかな」と思うくらい、静かに感じましたが、皆さん話しかけたら、お話し好きな人が多くて安心しました。私が目指す機能訓練は、生活機能をアップしたい！それには、「楽しみ」「目標」「生きがい」を作ること。生きがいが生きる力となり、それが心身機能を向上させる原動力になると思います。

介護をする人、受ける人。機能訓練をする人、受ける人という関係だけでは、常にご入居者は受け身で、一方通行のまま終わってしまいます。そこで個別訓練では、ずっと話を聞きながら行っています。歩きながら、立ちながら、ご入居者に今思っていることや感じていることを話してもらっています。それは、ベッド上の方も同じです。認知症という病気を持っていても、頭の中にあるご自身の事を話しされる時はいきいきとされています。昔の話は楽しそうに話をされるのに、今の自分の事になると、大切なことを忘れてしまうし、なんの役にも立たないよと声を出して泣かれるばかり。

心が動かなければ身体も動かない。身体が動かなければ生活機能は低下する。この逆を目指す私だから、個別訓練で話しながら、「心が動く」キーワードを探しています。その会話の中に「やってみたい」「元気になりたい」「繋がりたい」の「したい」を探しています。

- ヒッチコック監督の「鳥」の映画が見たい。
- 自分で食べたい。 ●みんなが喜ぶ「メロン」を作りたい。
- 吉本新喜劇が見たい。 ●自転車に乗りたい。
- みんなが食べれるものを作りたい。
- 自宅に頻繁に戻れるように階段の上り下りを練習したい。
- キャッチボールがしたい。 ●餅が食べたい。
- ずっと歌を歌っていたい。 ●筋肉をもっとつけたい。
- すたすた歩きたい。・・・

この写真は「すたすた歩きたい」と言われた方です！



頑張っています！

ステップアップ事業!!

去る11月30日、ヒロデンタルクリニック上田院長をはじめ、優しい歯科衛生士の方々のご協力を得て、口腔ケアに関する研修会を開催しました。研修に参加した職員からは、実習を通じて口腔ケアを受けられるご入居者の気持ちを知ることができた、歯磨きのポイント



について分かりやすく教えて頂く事が出来て、今後の口腔ケアで実践していきたいとの前向きな声を多数聞くことができました。口腔ケアに関する研修は今後も継続していきます。歯科の先生、歯科衛生士さんとのさらなる連携強化に努め、多職種一丸となって口腔内の清潔保持、誤嚥性肺炎の予防に取り組んでいきたいと思ひます。(バジルリーダー 北口 真一)



実技研修

グループホーム
「華の家」通信
 華の家近況

「秋のお出かけ」

この秋、華の家はご利用者全員がお出かけしました。写真では全てをご紹介できず残念ですが、この他にも、喫茶店や地域老人福祉大会、箕面二中文化祭、光明の郷ケアセンター祭り、等々あちこちに行きました。これからご家族のご協力も得ながら、外出を積極的に行っていきます。白鳥荘の小さな華の家の応援よろしくお祈りします。



阪急電車に乗って…大阪市内まで



喫茶店でお茶も！



民舞の公演会を観てきました。



五月山動物園にて



荒牧バラ公園は眩しいほどの良い天気



ご家族も参加していただきました。



萱野東小学校での地域運動会へは荘長も一緒！喫茶「るうぶ」にて

海外研修報告書

介護職員
 大西 正乗

皆様こんにちは、3階オリーブにてリーダーをさせて頂いております大西正乗と申します。この度、福祉先進国でありますデンマークとフィンランドに5泊7日で研修に参加させて頂きましたので、内容を報告させて頂きます。

最初にデンマークにて、郊外にあるネストベ市の市役所を視察させて頂きました。とても歓迎ムードで議場にネストベ市の福祉事情に関してレクチャーを受けました。ネストベ市においても少子高齢化が進んでいると言われていました。その中でも日本と同じで認知症患者が増えて来ている中で、認知症に優しい街づくりに取り組んでいると言われていました。病院と市が一つになって個人個人の情報をやり取りする事で、サービスに早くつなげることが出来ると言われていました。

そして、ネストベシティーケア付き高齢者住宅シンフォニーを視察させていただきました。ここでは、主に認知症に対する取り組みに重きを置かれていて、スヌーズという五感に作用して安心して過ごして頂けるような取組や、近所に住まれている高齢者に対しては楽しめるアクティビティーを毎日脳トレや手芸など、その日の担当職員が交代で行う事で、社会貢献事業としてされておられて、リハビリにおいて予防と維持をはっきり分けた状態で取り組まれていると言われていました。



ユニットにおいての食事は、ユニット内にキッチンがあり、調理員と介護職員と一緒に入居者の前で調理をされていました。

もう一つの視察先であるボンデルuppガード・ナーシングセンターでは、自然や動物をモチーフにしておられる施設で、出される食事に関しては、90%オーガニック食品を使用されていて、食の安全に取り組まれていました。また、施設の廊下や居室を自由に2匹の犬が共存していました。また、感覚の庭と呼ばれるところでは、鶏やウサギが飼われていたり、野菜などが植えられていて、収穫祭などもされているとのことでした。居室のしつらえに関しては、ほとんどが自宅から持ち寄られたものばかりでうめつくされていて、生活の継続性を重視されておられました。



今回の福祉先進国と言われている北欧での研修を通じて、現在日本で行われている福祉とさほど変わりはない様に感じました。先進国においてもまだまだ課題がたくさんあり、同じ高齢者福祉に求めるところは同じで、入居者の個々人にあった幸せをどのように生活の中で感じて頂けるか、そのためにどのような関わりが必要なのか、共に探し求めていく事が私たちの使命なのかもしれないと感じさせられるような研修でした。

最後に、今回の研修の参加にあたり、参加を決定して下さった理事長と現場を護って頂いた職員の皆様のご尽力に感謝いたします。



光明の郷ケアセンター祭り

昨年10月25日に毎年恒例の『光明の郷ケアセンター祭り』を実施させていただきました。どうしたら地域の方に喜んでいただき、光明の郷ケアセンターのことを理解していただけるか、試行錯誤の中、当日を迎えました。



祭り風景

朝からたくさんの方々が来て下さり、ありがとうございます。日頃お世話になっているボランティアの方々によるバザーは好評で、たくさんの方々が店舗前に並んでおられました。食べ物コーナーやゲームコーナーも大盛況で特に瓶立てゲームは他のゲームより比較的難しく、成功するまでゲームコーナーから離れない方もおられました。3階では、地域の方がコーラスを披露して下さい、参加者の皆さんも一緒にコーラスを楽しんで盛り上げて下さいました。また、クイズ形式で行わせていただいたミニシンポジウムでは、障がい福祉サービスのことも少し知っていただけたのではないのでしょうか。地域の相談窓口として気軽に立ち寄りいただける場所になればと思っております。



最後に、地域の方々には祭りを盛り上げていただきありがとうございます。これからも地域の方々を支えられながら、地域に開かれた事業所づくりをして参ります。

(所長 宮島 崇)

地域活動支援センターの紹介

寒い風が吹く季節です。

寒さに負けず仲間たちは頑張っています。クリスマスに向けて、トイレトペーパーの芯アートに取り掛かりました。リースやツリー等です。皆さんの笑顔があふれた作業になりました。

また、恒例の年末の演芸会は、いつもは劇をしておりましたが、今年はミュージカルに挑戦しました。それも、楽器演奏もしてみようという事で、ドラム、ギター、キーボードなどに挑戦しました。仲間たちの真剣な練習風景をご覧ください。

年が明けて、次は何に取り組もうかと真剣に話し合っています。みんなが使っていただけるものを作成するのでもいいなどの意見が出ています。ご期待ください。

私どもの障がいデイではボランティアを募集しております。ご興味のある方はご連絡いただければと思います。仲間たちの笑顔が待っています。

毎月第2・4金曜日の午後1～3時に喫茶「フレンド」開店しています。是非にお越しください。

準備万端でお待ちしています。

(指導員 木村 篤)



光明の郷 ケアセンター ズームアップ

小規模多機能「ひねもす」

ひねもすでは、昨年末に認知症ケアの取り組みの一環として、ご利用者に、ご家族宛に年賀状を書いて頂きました。皆様、とても達筆な字で、すばらしい年賀状が出来上がりました。今後も、ご利用者一人ひとりに合った取り組みに力を入れて行きたいと思っております。

笑顔あふれるひねもすを目指し、今後もスタッフ一同取り組んで行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

また随時、見学・相談・体験の受け入れを行っております。お気軽にお問合せ下さい。日々のひねもすの様子等、ブログに乗せております。ご興味のある方は是非、ご覧ください。

(所長 高木 美佳)



光明の郷 相談支援センター「はくしま」

意思決定支援について

「愚行権」—先日聴いた講演で最も印象に残った言葉です。先般、国連の障がい者権利条約に日本も批准し、障がいのある方々の権利を守るための法整備などが進められています。

さて、この「愚行権」と言うのは、読んで字のごとく、愚かな行いをする権利、「失敗をする権利」とも言いたいでしょうか。日本に先がけて2005年に意思決定能力法が制定されたイギリスでは、知的障がい、精神障がいがあっても、「意思決定を喪失しているという確固たる証拠がない限り、あると推定されなければならない」とあり、「愚行権をも、支援者は許容する」のだそうです。

要するに、ご本人が決めたことであれば、失敗しそうなことでも、出来る限り尊重する、「失敗をする権利」をも尊重するというものです。われわれ支援者は立場上、ご利用者に「失敗させてはならない」という考えが知らない間にあります。しかし、障がいのある方々にとっても、まず「チャレンジ」する、成功でも失敗でも、それがひとつの「権利」なのだということは支援する上での大切な視点なのかなあ、なんて思ったり…。ご本人の決めたことなら、よほどのことではない限り、「とりあえずやってみよう」という、寄り添いが必要なのかも知れませんね。

もしお見掛けの際は声をかけてください。

(相談支援専門員 山口)

栄養科だよ! **地域住民との交流の場、**
居酒屋「さこちゃん」を始めました。


当施設では、昨年の9月より毎月第3木曜日の18時30分から20時まで、居酒屋「さこちゃん」を開店しております。本事業では、ご入居者に食を通じて施設での生活に楽しみを持って頂くことと、当施設と地域との繋がりをより深めるという目標があります。居酒屋ではご入居者の皆様は当然のことながら、地域住民の皆様もお越し頂いております。

12月で第4回目の居酒屋を実施いたしました。地域住民の皆様の参加者数も回を重ねるごとに増加し、ご入居者・職員と地域住民の皆様の交流の場となり、毎月第3木曜日の夜は、大変賑わっております。

調理師の資格を有するグループホーム華の家の職員がメニュー考案や調理まで全て1人で行い、居酒屋当日も1日ばかりで下処理から調理まで行い、現在のところ全て手作りのメニューで提供しております。

また、介護職員、相談員、事務職員、在宅部門の職員等の様々な職員も準備から片付けまで担当し、施設全体で力を合わせて取り組んでおります。

本事業を始めて数か月でまだまだ課題もありますが、ご入居者や地域住民の皆様が繋がりを深められるような交流の場を、引き続き提供できるように努めて参ります。



苦情連絡会議のご報告

平成27年4月から現在までに6件の苦情申し出を受けています。内訳はショートステイ3件、デイサービス2件、居宅介護支援事業所1件です。内容は、職員の言動によるもの3件、ケア内容に関するもの3件となりました。

苦情解決委員会では第3者委員の方々にも参加していただき、苦情内容、解決手順及び対策等に対して貴重なご意見を頂戴しながら、ご入居者の皆様や、在宅サービスのご利用者にとって安心で満足いくサービス提供に繋げていきます。

申出人:近隣住民

●苦情内容
送迎車の運転マナーが良くない。他の事業所の送迎時間と重なっていたが、白島荘の送迎車が後から入ってきたにもかかわらず、白島荘優先のしぐさだった。事故があったは大変なので、運転マナーについてしっかりと指導してほしい。

●対応策
運転している時は、他の送迎車両や近隣の方々に迷惑をかけないように、ルールを作りました。運転マナーを守って、安全に運転業務にあたるよう注意・指導しました。

申出人:ショートステイ利用者家族

●苦情内容
ショートステイ利用後、大腿部に内出血があり、その後、痛みを伴う状態になった。気を配って介助してもらいたい。

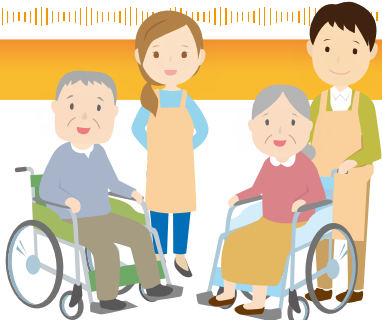
●対応策
ショートステイ利用期間中にかかわった職員に聞き取り・検証を実施し、内出血ができた要因及びケア内容及び連絡体制の見直しを行いました。この内容を説明させていただき、連絡体制に不備があったことをお詫びしました。

ボランティア募集

○特別養護老人ホーム白島荘、光明の郷ケアセンターなどでのボランティアに興味のある方、まずはお電話下さい。

活動内容 ○お話相手、行事補助、クラブ活動、喫茶補助、その他何か取り組みたいことなどあればお気軽にご連絡下さい。

○お問い合わせ ☎ **072-724-5511** 担当 大久保



見学・受付について

○ご入居、ご利用についてのご相談も含め、お気軽にお越しください。なお、見学を希望される方は事前に電話にてご予約いただいた上、お越しくださいますようお願い致します。特別養護老人ホーム以外にもデイサービスセンターやケアマネージャー、ホームヘルパーなどのご相談、ご利用についても、まずはお電話下さい。

○お問い合わせ ☎ **072-724-5511** 担当 大久保

編集後記

新年あけまして、おめでとうございます。
 平成28年が始まり、昨年お世話になった皆様には感謝申し上げます。
 さて、白島荘も新しくなり2年目に突入しています。新しい施設を地域の方々にも有効利用して頂けることを今年の目標として、頑張っていきます。もちろん更なるサービス内容の向上を一番の目標とし、行事内容等も紹介できればと思いますので今年もよろしくお願致します。
 今後とも白島荘グループをよろしくお願致します。

